

2023年度

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会定時総会

## 議 案 書

日 時 2023年 5月 27日（土曜日） 13時 00分

会 場 WEB開催（岩手医科大学附属内丸MC技師研修室から配信）

一般社団法人  
岩手県臨床衛生検査技師会

## 2023年度定時総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 総会役員選出 資格審査委員・議事運営委員・書記・議事録署名人
- 5 総会成立の確認
- 6 議事
  - 承認第1号 2022年度事業について
  - 承認第2号 2022年度決算について
  - 承認第3号 2022年度監査報告について
  - 第1号議案 2023年度事業計画(案)について
  - 第2号議案 2023年度予算(案)について
  - 第3号議案 2023・24年度理事・監事の選任(案)について
- 7 総会役員解任
- 8 議長解任
- 9 その他
- 10 閉会の辞

## 承認第1号

### 令和4年度事業 一般経過報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を奮い、変異しながら流行の拡大と縮小を繰り返し、完全な終息の兆しが見つかからない状態が続いております。これまで5回のワクチン接種が行われ、罹患者も多数に渡ることから新規の患者数は減少傾向にあります。感染症部類では2類から5類に引き下げられ行動規制も緩和されてきました。しかしこの影響は経済活動など社会全体及び、国民生活に大きく影響を受けました。医療現場では、ロックダウンが行われるなど一般の患者だけではなく医療現場でも影響を与え通常の医療供給ができない事態も発生しました。現在は落ち着いているように見えますが、いつウイルスが変異を起こしパンデミックが起きるか予断を許さない状況でもあります。このような状況が数年続いた結果、技師会活動も大きく様変わりせざるを得ませんでした。会議や研修会も現地開催からウェブ開催が主流になり、それに対応できる環境が全国的に整いつつあります。

今年度の事業計画については、新型コロナの影響で多くの事業が全国的な傾向と同じように研修会や会議もウェブ開催もしくはハイブリット開催が多くなりました。

学部事業では、北日本支部学会が北海道担当で2年ぶりに今年は現地開催となりました。岩手からは一般演題と座長という形で学会に参加しました。岩手県学会はコロナや昨年北日本支部学会を岩手が担当したこともあって3年ぶりの開催となりました。開催形式もコロナがまだ終息が見込めないことから、オンデマンドのウェブ開催としました。一般演題は県内各地から多岐にわたり集まり、特別企画で将来の検査業務について展望を考えるきっかけになったと思います。これ以外の各部門の学部事業の研修会もほとんどがWeb開催でしたが、精度管理報告会と総合管理との合同研修会は現地式とのハイブリット開催で行うことができました。また、部門ごとの開催ではなく、他部門とのコラボした開催もあり、視点を変え部門ごとの連携を強化する新しい形態の研修会も開催されました。これまでの固定観念を超えていろんな趣向を凝らした研修会が今後の糧になると思います。

タスクシフト講習会は1年以上前から企画をしましたが、コロナなどの影響で3度延期となり2月に開催することができました。

公益事業では、岩手県医学検査学会開催中ではありましたが、盛岡地区技師会の尽力により「検査と健康展」がやはば一くにて昨年規模で開催できました。検査技師の業務をコロナなどを通じて身近なものとして重要なことをアピールできました。

事務局では、通常の実務業務をしながら、各部門や各地区と連携を取りながら技師会事務処理などの会務をスムーズ熟していただき施設や会員への案内等を滞りなく執行していただき担当者、関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

最後になりますが、今年度も常務理事、各理事、学部部門長をはじめとする会員の皆様、関係各位の皆様のご理解、ご尽力、ご協力に感謝申し上げます。

## 事業報告

### <総務部> 総務部長：畠山 秀樹

#### 1、会員名簿について

会員名簿は2年毎に更新発行しており、名簿作成を目指していたが、理事会において個人情報の観点より発行しない方が良いのではないかと意見があり、発行を見送ることとした。

#### 2、組織体制及び連絡網の整備について

ホームページには、委託先と連絡を重ねて改良しながら会員に必要な研修会等の情報を発信した。併せてサイボウズについても理事、地区会長、部門長などをメンバーとし、連絡ツールとして有効活用した。

#### 3、研修会・会議用ツールについて

昨年度より、ミーティング用ツール「webex」を契約し使用していたが、「zoom」ミーティングの方がより広く使用されており、会員の方々も使用に慣れているのではないかと観点より、使用契約し会議、研修会等に使用した。

#### 4、会員の親睦について

今年度も、会員の親睦を深めるための企画を考えていたが、新型コロナの影響で実現できなかった。

#### 5、総会議案書について

2023年度総会議案書はホームページへの掲載とした。

### <学術部> 学術部長：高橋 一博

#### 1. 第25回医学検査学会

令和4年12月1日～12月27日 オンデマンド開催

学会長：菊池 英岳（岩手県臨床衛生検査技師会 会長）

実行委員長：川村 将史（いわてリハビリテーションセンター）

学会事務局：三田 隼士（盛岡市立病院）

特別講演1：22世紀に求められる地域を俯瞰した医療の展開を考える

講師：伊藤 智範

岩手医科大学 医学教育学講座地域医療学分野/

内科学講座循環器内科分野教授

特別講演2：地域医療に臨床検査技師ができること

～病診連携による疾患早期発見のための新たなアプローチ～

講師：高橋 敬太

岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 主任臨床検査技師

岩手医科大学医学部医学教育学講座地域医療学分野 研究員

一般演題7題

主催：（一社）岩手県臨床衛生検査技師会

担当：盛岡地区技師会

参加者74名

#### 2、第28回岩臨技精度管理調査

実施：令和4年12月6日～16日

報告会：令和5年3月4日(大通りリリオ)

実施委員長：岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 千葉 拓也

参加者64名

#### 3、各部門主催研修会

血液検査部門3回、病理細胞診部門2回、一般検査部門1回、生物化学分析部門1回

生理機能部門3回、総合管理部門1回、血液・総合管理部門合同1回、

一般・総合管理部門合同1回、生物化学分析・総合管理部門合同1回、

血液・一般・生物化学分析・総合管理4部門合同1回

計15回開催

#### 4、北日本支部部門研修会（岩手県担当分）

令和4年度日臨技北日本支部微生物部門研修会

日 時：LIVE 配信：令和 4 年 12 月 10 日

オンデマンド配信：令和 4 年 12 月 10 日～令和 5 年 1 月 6 日

世話人：岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 成田 和也

令和 4 年度日臨技北日本支部輸血細胞治療部門研修会

日 時：令和 5 年 1 月 7 日～1 月 31 日

世話人：岩手県立中央病院 臨床検査技術科 千葉 由紀

令和 4 年度日臨技北日本支部臨床検査総合部門研修会

日 時：令和 5 年 1 月 10 日～2 月 12 日

世話人：岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 小野寺 奈緒

#### 5、タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

日 時：令和 5 年 2 月 11 日

場 所：岩手県民情報交流センター（アイーナ）

実施委員長：盛岡市立病院 千葉 寛

### <各研究部門>

#### 生物化学分析部門（部門長：山本将規）

##### 1.研修会活動

###### ①令和 4 年度岩臨技第 1 回生物化学分析部門研修会

日時：令和 4 年 6 月 28 日（火曜日） 18：00～19：00

会場：Web 開催（Zoom 使用）

内容：講演 「反応タイムコースの見方」

講師 株式会社シノテスト プロダクトマネジメントチーム 酒井 瑞貴 氏

参加者：日臨技会員 23 名＋非会員 4 名

###### ②令和 4 年度岩臨技第 2 回生物化学分析部門・総合管理部門合同研修会

日時：令和 4 年 10 月 5 日（水曜日） 18：00～19：00

会場：Web 開催（Microsoft Teams 使用）

内容：講演 「血液ガスの基礎」

講師 ラジオメーター株式会社 MA&GA 部門 山口 由美子 氏

参加者：16 名

###### ③令和 4 年度（第 28 回）岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門（4 部門合同）研修会

日時：令和 5 年 3 月 4 日（土曜日） 13：00～16：30

会場：リリオ+Web 開催（Zoom 使用）

内容：講演 1 精度管理調査報告会

講演 2 総合管理部門（4 部門合同）研修会「検査データを読むコツ」

講師 各部門の部門長

参加者：64 名

##### 2.精度管理調査

###### ①臨床化学部門：試料 1、2 濃度・酵素項目・脂質項目を調査(計 27 項目)

試料 5、6 HbA1c を調査

###### ②免疫血清：試料 7、8 HCV 抗体、HBs 抗原の定性・定量を調査。

#### 遺伝子部門（部門長：佐々木 久臣）

##### 1、研修会活動

開催なし

#### 生理機能検査部門（部門長：舘野 幸枝）

##### 1、研修会

第 1 回生理機能検査部門研修会

日 時：令和4年6月27日（月）19:00～20:00

会 場：Web開催（Webex利用）

内 容：「検査技師に知ってほしい肺高血圧症の病態と検査所見」

講師：福島県立医科大学 ふたば救急総合医療支援センター 准教授 杉本 浩一 先生

参加者：22名

#### 第2回生理機能検査部門研修会

日 時：令和4年11月19日（土）14:00～15:45

会 場：Web開催（zoom利用）

内 容：「明日から使える！脳波検査の最新知識」

講師：岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 高橋 広大 技師

参加者：11名

#### 第3回生理機能検査部門研修会

日 時：令和5年1月21日（土）14:00～15:30

会 場：Web開催（zoom利用）

内 容：「超音波検査 消化管描出のコツ」～太田さん・中村さんとモヤモヤを消化しよう～

講師：医療法人共生会 松園第二病院 検査科 太田 恵 技師・中村 祐斗 技師

参加者：25名

#### 2、精度管理調査

フォトサーベイ

心電図、心臓超音波、腹部超音波、呼吸機能について実施

参加施設 40施設

心電図検査 40施設、心臓超音波検査 33施設、腹部超音波検査 28施設、

呼吸機能検査 38施設

#### 病理・細胞診検査部門（部門長：佐藤 千絵）

##### 1、研修会

###### ① 第1回病理・細胞検査部門研修会（web開催）

【日時】令和4年6月18日（土）13:30～15:40

【会場】オンライン形式（Webex）

【内容】：

###### 1. 「今更聞けない薄切のコツとポイント+α」

講師 サクラファインテックジャパン株式会社 学術顧問 末吉 徳芳先生

###### 2. 「免疫染色の基礎」

講師 株式会社ニチレイバイオサイエンス分子診断薬事業部 営業グループ

橋本 莉穂 先生

「病理診断における免疫染色の実際 ～肺がんを中心に～」

講師 株式会社ニチレイバイオサイエンス分子診断薬事業部 学術グループ

久保田 早織 先生

###### ② 第2回病理・細胞検査部門研修会（web開催）

【日時】令和4年10月15日（土）13:30～15:40

【会場】オンライン形式（Zoom）

【内容】

###### 1. 「検査室における危険物の取扱いについて」

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 肥田野 靖史 技師

###### 2. 「盛岡赤十字病院から愛を込めて」

・「The 薄切!!」

講師 盛岡赤十字病院医療技術部 病理技術課 水野 幸人 技師  
・「子宮内膜細胞診の精度向上に努めて」  
講師 盛岡赤十字病院医療技術部 病理技術課 菊池 優 技師

3. 「～肺癌遺伝子病理の最新の動向について～SRL」

・「肺癌遺伝子病理の保険点数解釈について」

講師 H.U.フロンティア株式会社 東北営業所 係長 齋藤 豪 先生

・「コンパニオン診断オンコメインマルチ・Amoy の違いについて」

講師 H.U. フロンティア株式会社 ゲノム解析課 大江 裕佳 先生

・「コンパニオン診断に対応するための冷虚血時間を含む固定操作条件」

講師 H.U. フロンティア株式会社 ゲノム解析課 後藤 義也 先生

2、精度管理調査 「診断に必要な特殊染色の考察と実施」 アミロイド染色

**血液検査部門（部門長：内藤 呂美）**

1、研修会

令和4年度岩臨技第1回血液検査部門・総合管理部門研修会

日時：令和4年5月11日（水） 17：45～19：30

会場：Web開催（webex使用）

内容：講演Ⅰ 静脈血採血のコツと検体取扱いの注意点

講師 岩手県立中央病院 臨床検査技術科 工藤 奈美 技師

参加者：35名

令和4年度岩臨技第2回血液検査部門研修会

日時：令和4年6月24日（金） 17：30～19：30

会場：Web開催（Microsoft Teamsを使用）

内容：講演Ⅰ 自動血球計数分析装置の原理と誤差要因

講師 ベックマン・コールター株式会社 ダイアグノスティックス営業統括本部  
営業企画推進統括部 学術クリニカルアプリケーションズ部 吉田 隼太 氏

参加者：21名

令和4年度岩臨技第3回血液検査部門研修会

日時：令和4年10月21日（金） 17：30～19：30

会場：Web開催（zoom使用）

内容：講演Ⅰ この血液検査データどうみますか？

講師 岩手県立中央病院 臨床検査技術科 工藤 翔矢 技師

岩手県立中央病院 臨床検査技術科 山屋 理樹 技師

参加者：23名

令和4年度岩臨技第4回血液検査部門研修会

日時：令和5年2月17日（金） 17：30～19：30

会場：Web開催（zoom使用）

内容：講演Ⅰ 血液検査の基礎を学ぶ「顕微鏡の使い方」

講師 岩手県立中央病院 臨床検査技術科 佐藤 昂 技師

講演Ⅱ 血液検査の基礎を学ぶ「末梢血塗抹標本の作製・見方・注意点」

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 染谷 俊裕 技師

参加者：28名

2、精度管理調査

血算部門：2濃度6項目（試料9、試料10）

形態部門：フォトサーベイ（細胞同定：設問1～10、病態判断：設問11）

**一般検査部門（部門長：畠山 和枝）**

## 1、研修会

### ① 第1回一般検査部門研修会（web開催）

【日時】令和4年7月9日（土）13:30～15:00

【会場】オンライン形式（Webex）

【内容】：

#### 1. 炎症性腸疾患における便中カルプロテクチン検査の有用性

講師 栄研化学株式会社 マーケティング推進室 志賀 常雄 氏

#### 2. 令和3年度岩臨技精度管理調査（一般検査部門）の解説

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 畠山 和枝 技師

### ② 第2回一般検査部門・総合管理部門合同研修会（web開催）

【日時】令和4年9月30日（金）18:00～19:00

【会場】オンライン形式（Zoom）

【内容】

「尿定性検査のピットフォール」

講師 岩手医科大学附属病院 中央臨床検査部 畠山 和枝 技師

## 2、精度管理調査

フォトサーベイ実施

## 感染制御部門（部門長：成田 和也）

### 1、研修会活動

開催なし

### 2、精度管理調査

フォトサーベイ 2題

同定検査 1題

同定、薬剤感受性検査 1題

## 輸血・移植管理部門（部門長：千葉 由紀）

### 1、研修会活動

#### 1) 令和4年度北日本支部輸血細胞治療部門研修会

【日時】令和5年1月7日（土）

【会場】web開催（日臨技サイトおよびzoomによるライブ配信）

【内容】特別講演 『自己免疫性溶血性貧血の臨床 ～私たち医師は輸血検査を知らない～』

講師：弘前大学大学院医学研究科 輸血・再生医学講座 玉井 佳子 先生

講演 1 『不規則抗体検査における自己抗体の考え方』

講師：日本赤十字社北海道ブロック血液センター検査一課 北崎 英晃 技師

講演 2 『夜間当直帯の輸血検査』

講師：オーソクリカルが イアグノスティクス株式会社 齋藤 大輔 氏

講演 3 『検査技師が悩む新生児輸血のあれこれ ～輸血検査のポイントと、解ってもらえる医師への報告のやり方～』

講師：福岡市立こども病院 検査部/輸血管理室 福田 善久 技師

講演 4 『安全な輸血療法のための内部精度管理』

講師：東海大学医学部附属病院 臨床検査技術科輸血室 板垣 浩行 技師

【参加者】岩手県20名（全国293名）

### 2、令和4年度 岩臨技精度管理調査

配布試料：試料12、試料13

評価内容：ABO及びRhD血液型検査・不規則抗体スクリーニング検査

・不規則抗体同定検査：12施設

輸血フォトサーベイ：不規則抗体同定検査3題（評価対象外）

## 総合管理部門(部門長：小野寺 奈緒)

### 1、研修会

- 1) 令和4年度 第1回血液検査部門・総合管理部門合同研修会  
日時：令和4年5月11日(水) 18:00～19:30  
会場：web開催(Webex)  
内容：「静脈血採血のコツと検体取扱いの注意点」  
講師 岩手県立中央病院 工藤 奈美 技師  
参加者：35名
- 2) 令和4年度 第2回一般検査部門・総合管理部門合同研修会  
日時：令和4年9月30日(金) 18:00～19:00  
会場：web開催(zoom)  
内容：「尿定性検査におけるピットフォール」  
講師 岩手医科大学附属病院 畠山 和枝 技師  
参加者：17名
- 3) 令和4年度 第2回生物化学分析部門・総合管理部門合同研修会  
日時：令和4年10月5日(水) 18:00～19:00  
会場：web開催(Microsoft Teams)  
内容：「血液ガスの基礎」  
講師 ラジオメーター株式会社 MA&GA 部門 山口 由美子 氏  
参加者：16名
- 4) 令和4年度 総合管理部門研修会  
日時：令和5年1月13日(金) 18:00～19:00  
会場：web開催(zoom)  
内容：「臨地実習に関する動向」  
講師 岩手県立中部病院 藤原 教徳 技師  
参加者：8名
- 5) 令和4年度 精度管理調査報告会・総合管理部門(4部門合同)研修会  
日時：令和5年3月4日(土) 13:00～16:30  
会場：リリオ 3F イベントホール+Live 配信(zoom)  
内容：① 精度管理調査報告会  
② 4部門合同研修会「検査データを読むコツ」  
司会 岩手医科大学附属病院 小野寺 奈緒 技師(総合管理部門 部門長)  
講師 岩手県立大船渡病院 山本 将規 技師(生物化学分析部門 部門長)  
岩手県立中央病院 内藤 呂美 技師(血液検査部門 部門長)  
岩手医科大学附属病院 畠山 和枝 技師(一般検査部門 部門長)  
参加者：64名

## <公益事業部>公益事業部長：川村 将史

公益事業活動として、昨年度と同様に「検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、県民の皆さまに私たち臨床検査技師の仕事内容を周知する事に特化して開催した。私たち医療従事者と参加者の双方から新型コロナウイルス感染症の感染が拡大することを避けるため、参加者と直接触れ合わない内容で行った。臨床検査技師の業務、特に国民の大半が耳にしたと思われる「PCR検査」関連について模型やデモ機を用いてPRした。その結果、昨年を上回る179名もの多くの人に展示の見学や感染対策に留意した方法で実施したPPEの着脱を体験していただくことができた。また、ガン予防啓発事業「大腸がん予防啓発キャンペーン 2022」メディアを活用した「STOP!大腸がん」を企画したが、新型コロナウイルス感染症の流行が継続したため、昨年度と同様に中止した。次年度は対面開催が可能な場合は例年通りの様々な企画を開催したい。

ガン予防啓発事業：中止

【大腸がん予防啓発キャンペーン 2022 メディアを活用した「STOP!大腸がん」】

開催日：令和4年度内

場 所：WEB、TV、ラジオ等のマスメディアを活用した臨床検査 PR

対象者：岩手県民

中止理由：新型コロナウイルス感染症拡大及び臨床検査業務がひっ迫したため企画できなかった。

全国 検査と健康展：実施

【検査と健康展 in やはぱーく】

開催日：令和 4 年 11 月 13 日（日）

場 所：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

担 当：岩臨技公益事業部、盛岡地区技師会

対象者：県民の方。臨床検査技師の仕事内容を知りたい方、学びたい方、  
将来の職業として臨床検査技師に興味がある学生

活動内容：

日臨技と岩臨技のそれぞれが主催の企画である「全国 検査と健康展」を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながら、昨年同様の内容で開催した。当日は 179 名もの多くの県民に足を運んでいただいた。3 年目のコロナ禍で国民の興味が薄れてきている今でこそ、継続して我々臨床検査技師が行っている仕事である PCR 検査を県民に直接伝えることができた。また、PPE の着脱の実践を体験していただいた。PPE を着て検体採取など長時間業務するキツさを実際に肌で感じてもらうことができた。開催場所の「やはぱーく」は学生たちが勉強するスペースも併設しているため、そこに勉強しに来ていた学生たちにも私たち臨床検査技師がやっていることについての説明を見ていただくことができた。

<生涯教育研修部>生涯教育研修担当：畠山 秀樹

- 2022 年度における生涯教育活動並びに会員からの自己申告は、生涯教育研修部に届いているものに関しては、日臨技総合情報システム（JAMTIS）に登録済である。
- 生涯教育サイクルは 5 年間とし、基礎教科、専門教科をバランスよく受講し、合計 200 点以上で終了証書の発行を受けることが出来る。  
【基礎教科（60 点以上）＋専門教科（140 点以上）＝200 点以上】
- 2022 年度の生涯教育活動一覧を表 1 に示す。日臨技研修会推進事業に 17 行事申請した（最大枠 20 行事）。開催された対象行事は 22 回、うち学会 1 回、研修会等 18 回でいずれもオンライン形式であった。総会が開催されたが、会場参加は役員のためのハイブリット開催であった。
- 月別生涯教育行事開催数を表 2、教科別の開催状況を表 3・4 に示す。昨年よりは研修会数は増えてはいるが、開催に至らなかった地区・部門もあった。
- 今年度も、新型コロナの影響で集会型の研修会は開催できなかった。WEB 開催は参加者にとって、何処にいても参加できるメリットはある。しかし、広報周知が不十分な為か会員数の割にまだまだ利用者数が増えていなかった。
- ホームページアクセス数は、研修会の案内文書の配布機会の減少や、日臨技への事前参加登録が増えた為増加した。研修会などの行事案内は生涯教育研修部に依頼のあったものは全て掲載した。

	開催日	行事名	主催等	参加者数	生涯点数		推進事業
					基礎	専門	
1	2022/5/11	令和 4 年度第 1 回血液検査・総合管理部門合同研修会	血液	29	専門	20	採用 1
2	2022/5/19	令和 4 年度盛岡地区技師会定期総会	総会	28	基礎	30	
3	2022/6/4	(一社)岩手県臨床衛生検査技師会 2022 年度定時総会	総会	30	基礎	30	
4	2022/6/11	第 72 回 盛岡地区技師会 研修会	臨床化学	14	専門	20	採用 2
5	2022/6/18	令和 4 年度岩臨技第 1 回病理・細胞検査部門研修会	病理	31	専門	20	採用 3
6	2022/6/24	令和 4 年度岩臨技第 2 回血液検査部門研修会	血液	25	専門	20	採用 4
7	2022/6/27	令和 4 年度岩臨技 第 1 回生理機能部門研修会	生理	23	専門	20	採用 5

8	2022/6/28	令和4年度岩臨技第1回生物化学分析部門研修会	臨床化学	24	専門	20	採用6
9	2022/7/9	令和4年度岩臨技第1回一般検査部門研修会	一般	10	専門	20	採用7
10	2022/9/28	2022年度第1回岩臨技北部地区技師会研修会	遺伝子、染色体	13	専門	20	採用8
11	2022/9/30	令和4年度岩臨技第2回一般検査・総合管理部門合同研修会	一般	17	専門	20	採用9
12	2022/10/5	令和4年度岩臨技第2回生物化学分析・総合管理部門合同研修会(Web開催)	臨床化学	16	専門	20	採用10
13	2022/10/15	令和4年度第2回病理・細胞検査部門研修会	病理	27	専門	20	採用11
14	2022/10/21	令和4年度岩臨技第3回血液検査部門研修会	血液	23	専門	20	採用12
15	2022/11/13	平成4年度「全国 検査と健康展 in やはばーく」	岩臨技	9	基礎	20	
16	2022/11/19	令和4年度岩臨技第2回生理機能部門研修会	生理	12	専門	20	採用13
17	2022/12/1-27	第25回岩手県医学検査学会(Web開催)	岩臨技	74	専門	20	
18	2023/1/13	令和4年度岩臨技 総合管理部門研修会	管理運営	8	基礎	20	採用14
19	2023/1/18	令和4年度第1回中部地区臨床検査技師会自主研修会	臨床化学	26	専門	20	採用15
20	2023/1/21	令和4年度岩臨技第3回生理機能部門研修会	生理	28	専門	20	採用16
21	2023/2/17	令和4年度岩臨技第4回血液検査部門研修会	血液	27	専門	20	採用17
22	2023/3/4	令和4年度(第28回)岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門(4部門合同)研修会	管理運営	64	基礎	20	

表2 年度別月別開催数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
2018	2	6	4	2	3	8	8	3	5	3	5	5	54
2019	1	4	3	4	1	2	5	4	5	2	2	0	33
2020	0	2	2	0	0	1	0	3	1	1	0	2	12
2021	0	2	0	0	2	0	2	4	1	0	4	1	16
2022	0	2	6	1	0	2	3	2	1	3	1	1	22

表3 年度別教科点数別開催数

点数	2018	2019	2020	2021	2022
基礎教科10点	0	0	0	0	0
基礎教科20点	20	13	2	2	3
基礎教科30点	1	1	4	1	2
専門教科10点	0	0	0	0	0
専門教科20点	31	18	6	12	17
専門教科30点	2	1	0	1	0
合計(回)	54	33	12	16	22

表4 年度別教科別点数

教科	2017	2018	2019	2020	2021	2022
基礎教科	230	430	290	160	70	120
専門教科	680	680	390	120	270	340
合計(点)	910	1110	680	280	340	460

<精度管理部>精度管理部長：千葉 拓也

令和4年度(第28回)岩臨技精度管理調査

調査実施日：令和4年12月6日(火)

対象部門：臨床化学、免疫血清、微生物、血液検査、一般検査、生理検査、輸血検査、病理検査

回答方法：日臨技精度管理システム(JAMTQC)を介してのみ

報告会

日時：令和5年3月4日(土)

会場：ハイブリット(Web開催+リリオ)

<書記・会報部>書記・会報部長：藤倉 由規

1. 書記部門は、定期総会と医大での会議とWebでの会議録を作成しました。

2. 会報部門は、おかげ様で、会長、理事の皆様、会員の皆様のご協力もあり、335号(4月)、336号(6月)、337号(8月)、338号(10月)、339号(12月)、340号(1月)の6回発行することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

## <地区技師会・事業報告>

### 北部地区技師会（北部地区会長 熊谷 正邦）

通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年同様、会員に議案書を送付し書面での議決権行使をお願いし、書面表決とした。

会員総数 41 名、回収率 95%、

令和 3 年度事業報告・会計報告と令和 4 年度事業案・予算案・役員案について 39 名（3 分の 2 以上）の賛成を以て可決された。

研修会を 1 回実施した。

日 時 : 令和 4 年 9 月 28 日（水） 17 : 30～18 : 30

内 容 : 全自動遺伝子解析装置について

～CT 値とサイクル値、コロナ変異株関連情報、機器対応状況等～

（ WEB 開催 Zoom を使用 ）

講 師 : （株）ミズホメディー

参加人数 : 13 名

### 盛岡地区技師会（盛岡地区会長：川村 将史）

今年度の活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いながら総会（web 開催）、役員会の開催、検査と健康展 in やはぱーく、第 25 回岩手県医学検査学会を開催した。今年度の検査と健康展は、今年度も盛岡地区が担当し、前年度と同一内容での開催とした。前年度 133 名を超える 179 名もの多くの方に来場して頂いた。研修会について、事業計画案では年 3 回の開催を計画していたが、第 25 回岩手県医学検査学会の準備・開催の為、断念した。次年度以降に研修会を計画する予定とした。

#### 令和 4 年度 盛岡地区技師会総会（web 開催）

日 時 : 令和 4 年 5 月 19 日（木）18 : 30～19 : 10

会 場 : Webex によるオンライン開催

参 加 : 28 名

委任状 : 198 名（盛岡地区会員 270 名 過半数 136 名）

#### 令和 4 年度 第 1 回 役員会

日 時 : 令和 4 年 5 月 19 日（木）19 : 20～20 : 00

会 場 : Webex によるオンライン開催

内 容 : 総会決議案の承認の確認、及び活動計画について

#### 第 72 回 盛岡地区技師会研修会

日 時 : 令和 4 年 6 月 11 日（土）14 : 30～15 : 30

会 場 : Webex によるオンライン開催

内 容 : 日当直に役立つ血液ガスデータの見方

講 師 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)

DX 事業本部 POC 営業本部

土橋 洋之（ツチハシ ヒロユキ）先生

#### 検査と健康展 in やはぱーく（岩手県臨床衛生検査技師会、盛岡地区技師会共催）

日 時 : 令和 4 年 11 月 13 日（日）9 : 00～14 : 00

会 場 : 矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町）

内 容 : 臨床検査技師紹介の展示、健康啓発パネルの展示、リーフレット配布、POCT 用遺伝子増幅検査機器の展示、新型コロナウイルスの検査法についてご紹介、PPE 着用体験

参 加 : 179 名

#### 第 25 回 岩手県医学検査学会（盛岡地区技師会担当）

日 時 : 令和 4 年 12 月 1 日（木）9 : 00～令和 4 年 12 月 27 日（火）23 : 59

会 場 : web 開催 (オンデマンド方式)  
内 容 : 特別講演、一般演題発表  
参 加 : 76名 (内、会員 74名)

#### 令和4年度 第2回 役員会

日 時 : 令和5年3月16日 (木) 17:30~18:00  
会 場 : zoom によるオンライン開催  
内 容 : 令和4年度活動内容・決算について、次年度の活動について

#### 中部地区技師会 (中部地区会長: 山根 修一)

令和4年度、定期総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、会員91名に議案書を送付し、「議決権行使書 兼 委任状」による書面総会という形をとった。各議案については委任状の提出(会員数91名、委任状回収率100%、賛成91名)を以て可決した。

中部地区技師会主催の研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を考慮し、オンラインでの研修会を1回行った。

幹事会は1回行った。

#### 令和4年度 第1回研修会

日 時 : 令和5年1月18日 (水) 16:30~17:15  
会 場 : オンライン開催  
参 加 : 26名  
内 容 : 異常反応について~汎用自動分析機で確認できる内容を含めて~  
講 師 : ニッターボーメディカル株式会社 学術部 土井 創 先生

#### 令和4年度 第1回幹事会

日 時 : 令和5年2月14日 (火) 17:30~18:30  
会 場 : オンライン (zoom 使用)  
内 容 : 令和5~6年度役員選出について

#### 南部地区技師会 (南部地区会長: 中沢 和浩)

通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため昨年度に引き続き、書面での議決権行使をお願いし、書面表決とした。会員総数63名 議決権行使書提出60名

すべての議案について、3分の2以上の賛成を持って可決された。

南部地区技師会主催の研修会は、開催していない

#### 三陸地区技師会 (三陸地区会長: 岡田 進)

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大のため、通常定期総会は会員参集による開催を見送り総会議案書を会員に配布しました。令和3年度事業報告・会計報告と令和4年度事業案・予算案については会員の皆様より賛成を頂き承認されました。今年度地区技師会としての研修会等のイベントは新型コロナウイルス感染症のため控えていましたが感染状況を見ながら Web 研修会を2回開催することが出来ました。地区会員の皆様には感謝致します。

#### 令和4年度岩臨技三陸地区技師会 定期総会

令和4年5月 賛成41、反対0、保留0 (会員数47名申請中3名含)

#### 令和4年度三陸地区技師会 第1回研修会 (Web 研修会)

令和4年12月15日

「NAFLDによる肝線維化の非侵襲的診断法」

シーメンスヘルスケア株式会社

#### 令和4年度三陸地区技師会 第2回研修会 (Web 研修会)

令和4年12月22日

「超音波画像診断の肝線維化評価について ~エラストグラフィとは~」

シーメンスヘルスケア株式会社

## 2022 年度収支計算書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	11,500	12,000	△ 500	
入会金収入	11,500	12,000	△ 500	500 円×24 名
② 会費収入	4,740,000	4,771,000	△ 31,000	
正会員会費収入	4,060,000	4,011,000	49,000	7,000 円×573 名
賛助会員会費収入	680,000	760,000	△ 80,000	20,000 円×38 社
③ 事業収入	330,000	615,000	△ 285,000	
事業収入	330,000	615,000	△ 285,000	精度管理収入、県学会参加費、広告費
④ 補助金等収入	1,110,000	1,218,370	△ 108,370	
研修会費収入	10,000	0	10,000	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,218,370	△ 118,370	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	111	389	
受取利息収入	500	111	389	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	6,192,000	6,616,481	△ 424,481	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
<b>2. 事業活動支出</b>				
① 事業費支出	2,590,000	3,066,477	△ 476,477	
<b>ア 啓蒙活動支出</b>	700,000	547,223	152,777	
給料手当支出	100,000	18,000	82,000	スタッフ日当
報償費支出	100,000	25,560	74,440	スタッフ弁当
旅費交通費支出	110,000	10,500	99,500	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	0	10,000	発送費、切手代
消耗品費支出	120,000	417,087	△ 297,087	ボールペン、マウスピース
印刷製本費支出	10,000	4,983	5,017	検査と健康展チラシ印刷
賃借料支出	100,000	68,700	31,300	会場費、トランクルーム
諸謝金支出	100,000	0	100,000	
雑支出	50,000	2,393	47,607	健康展備品
<b>イ 学会活動支出</b>	0	1,008,314	△ 1,008,314	
給料手当支出	0	86,000	△ 86,000	スタッフ日当
報償費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	0	16,000	△ 16,000	スタッフ交通費
通信運搬費支出	0	37,752	△ 37,752	発送費、切手代
消耗品費支出	0	0	0	文具等
印刷製本費支出	0	0	0	岩手医学検査
賃借料支出	0	0	0	会場費
諸謝金支出	0	101,048	△ 101,048	講師謝礼
雑支出	0	21,691	△ 21,691	
委託費	0	745,823	△ 745,823	ヤマダプランニング
<b>ウ 研修会活動支出</b>	790,000	459,663	330,337	
給料手当支出	15,000	84,000	△ 69,000	スタッフ日当
報償費支出	100,000	17,543	82,457	講師飲料代
旅費交通費支出	150,000	50,020	99,980	講師交通費、宿泊費
通信運搬費支出	20,000	66,112	△ 46,112	発送費、切手代
消耗品費支出	30,000	41,259	△ 11,259	
印刷製本費支出	10,000	0	10,000	資料作製費
賃借料支出	110,000	0	110,000	会場費
諸謝金支出	350,000	144,685	205,315	講師謝礼
雑支出	5,000	56,044	△ 51,044	リモート用機材

<b>エ 会報事業支出</b>	500,000	322,142	177,858	
通信運搬費支出	135,000	82,562	52,438	発送費、切手代
消耗品費支出	5,000	0	5,000	
印刷製本費支出	350,000	239,580	21,228	印刷費
雑支出	10,000	0	10,000	振込手数料
<b>オ 精度管理事業支出</b>	600,000	729,135	△ 129,135	
通信運搬費支出	70,000	62,040	7,960	切手代等
消耗品費支出	350,000	501,055	△ 151,055	器材費等
委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用料
雑支出	70,000	56,040	13,960	宅配費用等

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
<b>②管理費支出</b>	3,602,000	2,131,803	1,470,197	
役員報酬支出	80,000	48,500	31,500	理事日当(@500円)
給料手当支出	190,000	148,000	42,000	手当、税理士報酬
報償費支出	200,000	84,018	115,982	総会費、監査経費
会議費支出	20,000	0	20,000	会場費
旅費交通費支出	270,000	220,330	49,670	理事会交通費、日臨技交通費
通信運搬費支出	800,000	804,347	△ 4,347	電話、インターネット、議案書発送費
消耗品費支出	100,000	1,815	98,185	封筒、コピー用紙等
印刷製本費支出	300,000	280,509	19,491	議案書印刷費、コピー機使用料、名簿印刷費
賃借料支出	450,000	335,400	114,600	トランクルーム、コピー機リース、パソコンリース
諸謝金支出	10,000	0	10,000	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	30,000	25,740	4,260	レンタルサーバー使用料
慶弔費	10,000	70,050	△ 60,050	弔電
雑支出	1,070,000	41,094	1,028,906	振込手数料等,法人登記費用。日報広告費
<b>事業活動支出計</b>	6,192,000	5,198,280		
<b>事業活動収支差額</b>	0	1,418,201	△ 1,418,201	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		

投資活動支出計		0	
投資活動収支差額		0	
<b>II 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入		0	
財務活動収入計		0	
2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
<b>II 予備費収支の部</b>			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	1,418,201	
前期繰越収支差額	0	7,363,530	
次期繰越収支差額	0	8,781,731	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、及び前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	234,838	443,739
普通預金	7,351,212	8,560,478
定期預金	2,000,783	2,000,817
北日本学会前渡金	0	0
合計	9,586,833	11,005,034
前受金	0	0
合計	0	0
次期繰越収支差額	9,586,833	11,005,034

# 財産目録

(2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	現金手許有高	443,739	
普通預金	岩手銀行県庁支店 №.121140	8,560,478	
定期預金	岩手銀行本町支店 №.96689	2,000,817	
北日本学会前渡金		0	
流動資産合計			11,005,034
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計		0	
(2) 特定資産			
特定資産合計		0	
(3) その他固定資産			
什器備品		133,628	
その他固定資産合計		133,628	
固定資産合計			133,628
資産合計			11,138,662
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金			
流動負債合計			0
負債合計			0
<b>正 味 財 産</b>			11,138,662

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	11,005,034	9,586,833	1,418,201
北日本学会前渡金	0		
流動資産合計	11,005,034	9,586,833	1,418,201
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	133,628	133,628	0
その他固定資産合計	133,628	133,628	0
固定資産合計	133,628	133,628	0
資産合計	11,138,662	9,720,461	1,418,201
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	11,138,662	9,720,461	1,418,201
正味財産合計	11,138,662	9,720,461	1,418,201
負債及び正味財産合計	11,138,662	9,720,461	1,418,201

# 正味財産増減計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1)経常収益			
①受取入会金	12,000	8,500	3,500
受取入会金	12,000	8,500	3,500
②受取会費	4,771,000	4,772,000	△ 1,000
正会員受取会費	4,011,000	4,032,000	△ 21,000
賛助会員受取会費	760,000	740,000	20,000
③事業収益	615,000	318,440	296,560
事業収益	615,000	318,440	296,560
④受取補助金等	1,218,370	951,400	266,970
受取研修会費	0	0	0
受取助成金	1,218,370	9,514,000	△ 8,295,630
⑤雑収益	111	142	△ 31
受取利息	111	142	△ 31
雑収益	0	0	0
<b>経常収益計</b>	<b>6,616,481</b>	<b>6,050,482</b>	<b>565,999</b>

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>(2)経常費用</b>			
<b>① 事業費</b>			
<b>ア 啓蒙活動</b>	547,223	557,023	△ 9,800
給与手当	18,000	21,000	△ 3,000
報償費	25,560	24,000	1,560
旅費交通費	10,500	13,460	△ 2,960
通信運搬費	0	0	0
消耗品費	417,087	157,014	260,073
印刷製本費	4,983	269,241	△ 264,258
賃借料	68,700	68,860	△ 160
諸謝金	0	0	0
雑費	2,393	3,448	△ 1,055
<b>イ 学会活動</b>	1,008,314	0	1,008,314
給与手当	86,000	0	86,000
報償費	0	0	0
旅費交通費	16,000	0	16,000
通信運搬費	37,752	0	37,752
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	101,048	0	101,048
雑費	21,691	0	21,691
委託費	745,823		
<b>ウ 研修会活動</b>	459,663	479,969	△ 20,306
給与手当	84,000	13,000	71,000
報償費	17,543	8,516	9,027
旅費交通費	50,020	27,900	22,120
通信運搬費	66,112	51,579	14,533
消耗品費	41,259	5,507	35,752

印刷製本費	0	0	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	144,685	103,822	40,863
雑費	56,044	269,645	△ 213,601
<b>工 会報事業</b>	<b>322,142</b>	<b>199,918</b>	<b>122,224</b>
通信運搬費	82,562	59,118	23,444
消耗品費	0	0	0
印刷製本費	239,580	140,800	
雑支出	0	0	0
<b>才 精度管理事業</b>	<b>729,135</b>	<b>667,621</b>	<b>61,514</b>
通信運搬費	62,040	71,190	△ 9,150
消耗品費	501,055	483,031	18,024
委託費	110,000	110,000	0
雑費	56,040	3,400	52,640
<b>事業費計</b>	<b>3,066,477</b>	<b>1,904,531</b>	<b>1,161,946</b>

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費			
役員報酬	48,500	71,500	△ 23,000
給料手当	148,000	145,000	3,000
報償費	84,018	85,160	△ 1,142
会議費	0	0	0
旅費交通費	220,330	60,690	159,640
通信運搬費	804,347	429,723	374,624
消耗品費	1,815	101,982	△ 100,167
印刷製本費	280,509	249,472	31,037
賃借料	335,400	335,400	0
諸謝金	0	0	0

租税公課	72,000	72,000	0
委託費	25,740	289,740	△ 264,000
慶弔費	70,050	0	70,050
雑支出	41,094	81,981	△ 40,887
<b>管理費計</b>	<b>2,131,803</b>	<b>1,922,648</b>	<b>209,155</b>
<b>経常費用計</b>	<b>2,131,803</b>	<b>1,922,648</b>	<b>209,155</b>
	5,198,280	3,827,179	1,371,101
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,418,201</b>	<b>2,223,303</b>	<b>△ 805,102</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用	0	0	
経常外費用計			
	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>1,418,201</b>	<b>2,223,303</b>	<b>△ 805,102</b>
一般正味財産期首残高	9,720,461	7,497,158	2,223,303
一般正味財産期末残高	11,138,662	9,720,461	1,418,201
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
<b>III 正味財産期末残高</b>			
	11,138,662	9,720,461	1,418,201

承認第3号

## 令和4年度監査報告書

令和5年4月19日

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会  
会長 菊池英岳様

監事 行森 良一   
井上 幸男 

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定款第4章28条の規定により、令和4年度の監査を令和5年4月19日岩手医科大学附属病院に於いて実施したので下記の通り報告する。

### 記

#### 会務について

コロナ禍で活動が制限されるなかであったが令和4年度事業計画に基づき、学術事業はWEB開催などを活用し円滑に遂行されていることを認める。また公益、渉外活動においても同様に活動が遂行されていることを認める。

#### 財務について

令和4年度予算に基づき適切に運用されていた。また、諸帳簿、書類、領収書、収支伝票等は適切に処理され保管されていることを認める。

#### 要望事項

- ・ 公益事業の「検査と健康展」や「あっぱりレーマラソン」等を通して、がん征圧や検査技師活動について広く県民に啓蒙できる事を望む。今後も関係団体や関係機関と協働し、公益事業を展開しながら地域医療に貢献すること。
- ・ 生涯教育研修制度を通じ、会員の知識や技術水準の維持向上に努めることを望む。

## 第 1 号議案

### 令和 5 年度事業計画（案）

令和 4 年度の事業計画を提案します

学術部事業では、昨年 3 年ぶりに開催した岩手県学会を順番通りに開催を目指していきます。しかし盛岡地区以外は会員数も少なく担当地区も広いと、負担が大きいという声が上がっているため、各地区からのサポートも含めて成功を目指します。アフターコロナの対策も取りながら多くの会員が参加でき有意義な学会になればと考えております。部門ごとの研修会も感染状況に応じて Web と現地の選択肢、もしくはハイブリットで開催されると思います。これまでの経験やそれぞれの長所短所を活かしながらかつ活発に開催していきます。タスクシフト講習会も昨年度他県には後れを取りましたが、第 1 回を無事終えることが出来ました。計画では年 2 回開催し 5 年で終える予定なので、今年度も 2 回開催を目指して取り組んでいきます。臨地実習においては昨年度から学生が入る予定になっておりますが、現場ではまだ受け入れに向けて臨地実習指導講習を受けているものが全ての受け入れ病院に配置されていないので、学生に不利益にならない様講習会の受講者を募り受け入れ体制を強化していきます。今年度の北日本支部学会は、福島県が担当で開催されます。岩手県としても、一般演題や座長など学会成功裏に向け取り組んでいきます。

総務部では連絡網の整備、電子配信の整備事業にも引き続き取り組みを強化して会員同士のつながりを密になるような事業も企画立案していきます。

公益事業の「検査と健康展」は感染対策も考慮しながら、これまでの教訓を生かしてより多くの県民市民に啓蒙出来るように開催していきます。「あっぷりレーマラソン」については主催者の判断をみながら、会員同士の親睦を深め、公益的な意義も深めるためにも参加していきたいと考えております。

事務局では、技師として通常業務を熟しながら技師会の業務も熟さなければならず、担当者の重荷が多くなってきています。活動が活発になればなるほど業務が多忙化してマンパワー不足が否めません。業務の見直しとシェアし、事務局体制の見直しを検討し、円滑で持続できる技師会活動を目指します。また、今年度も継続して未入会の方や新人技師の勧誘を行い組織率の向上に努めていきたいと思っております。

## 事業計画（案）

### <総務部>

- 1、組織体制及び連絡網について  
今年度も、ホームページを活用し、会員にとって必要な研修会等の情報を発信していきたい。  
また、サイボウズについても理事、地区会長、部門長などをメンバーとし、連絡ツールとして有効活用していきたい。
- 2、研修会・会議用ツールについて  
岩臨技で契約中の zoom ミーティングを使用し、会議、研修会等に使用していきたい。また、zoom ミーティングのような情報ツールを、情勢を見ながらより良いものを模索し取り入れていきたい。
- 3、会員の親睦について  
新型コロナは終息に向かってはいるが、動向を見ながら会員の要望に応えられるような企画を立案していきたい。
- 4、事務局について  
今年度、岩臨技事務局を現在の岩手医科大学附属内丸メディカルセンター中央臨床検査部内から、移転させるための手続きをしていきたい。

### <学術部>

- 1、岩手県学会の開催  
担当地区は順番通り。新型コロナの 5 類変更に伴い、現地開催を基本とするが、ハイブリッド開催の要望も多いことから担当地区での検討事項とする。
- 2、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会受講の呼びかけ  
日臨技 web 研修システムによる基礎講習受講の呼びかけ。  
ホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用する。
- 3、タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の開催  
日臨技 web 研修システムによる基礎講習修了者に対する岩臨技主催での実技講習開催準備と実施。令和 5 年 8 月 20 日を予定。
- 4、臨地実習指導者講習会参加への呼びかけ  
引き続きホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用する。
- 5、岩臨技精度管理調査の実施  
例年通り 11 月上旬を予定、報告会は 2 月から 3 月を予定。
- 6、各部門主催研修会の開催  
各部門長主導での部門研修会の開催  
開催案内はホームページと日臨技に登録されたメールアドレスを利用し会員に周知。

### <各研究部門>

#### 生物化学分析部門

1. 研修会
  - ・年 2 回程予定
  - ・令和 5 年度日臨技北日本支部研修会「生物化学分析部門」 9 月頃(岩手県盛岡市にて現地開催予定)
2. 精度管理調査
  - ・臨床化学部門：試料 1、2 濃度・酵素項目・脂質項目を調査(計 27 項目)  
試料 5、6 HbA1c を調査
  - ・免疫血清：試料 7、8 HCV 抗体、HBs 抗原の定性・定量を調査。

#### 遺伝子検査部門

- 1、研修会  
未定（年度内に研修会企画を検討）

#### 生理機能検査部門

- 1、研修会

### 第1回生理機能検査部門研修会

内容：TAVIに関する内容

日時：現在調整中

### 第2回生理機能検査部門研修会

内容：心アミロイドーシスに関する内容

日時：現在調整中

現在、メーカーから研修会の共催依頼があり調整中である。ただ、いずれも心エコーに関する内容となっている。

令和5年度北日本支部生理機能検査部門研修会の担当県が岩手県となっており、集合形式+後日オンデマンドの予定で現在準備中である。幅広い内容での企画を検討中のため、ぜひ多くの方にご参加いただきたい。

## 2、精度管理調査

心電図、心臓超音波、腹部超音波、呼吸機能について出題予定

## 病理・細胞診部門

### 1. 研修会

年度内2回研修会を開催予定 月日未定

### 2. 精度管理調査

特殊染色を予定

## 血液検査部門

### 1、研修会の開催

年度内に3回程度研修会を開催予定である。

昨年度、研修会終了後にGoogleフォームを使用したアンケート調査を行った。集計結果をもとに研修会内容を企画予定である。

### 2、精度管理調査（血算・フォトサーベイ）

## 一般検査部門

### 1. 研修会

年度内2～3回研修会を開催予定

### 2. 精度管理調査

フォトサーベイを予定

## 感染制御部門

### 1. 研修会

年度内に2回程度の研修会開催を予定している。

### 2. 精度管理調査

フォトサーベイや同定、薬剤感受性検査を予定している。

## 輸血・移植部門

### 1. 研修会活動

年2回程度開催予定である。内容は輸血検査・輸血療法全般に関することを中心に企画予定である。

また、実技研修会についても再開可能であれば検討したい。

### 2. 岩臨技精度管理調査

送付試料：2種類

フォトサーベイ：3題（予定）

### 3. その他

研修会及び精度管理調査に使用する試料の準備について、「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づき、日本赤十字社血液事業本部へ公募申請済み。

## 総合管理部門

### 1、研修会の開催

各部門と連携し、新人向けの研修会や領域横断した内容の研修会を開催予定。

### <公益事業部>

公益事業活動は「学生に対する臨床検査技師の普及事業」、「がん予防啓発キャンペーン」と「全国 検査と健康展」の3事業を計画している。今年度は新型コロナウイルス感染症の取扱いが変更されるため、状況を見ながらにはなるが、「事業活動を開催する」意向である。感染拡大防止対策を行いながら、県民の皆さまに臨床検査技師を周知していただく活動や、(一社)岩臨技会員の一人一人の心と体の健康も大切にできる取り組みを適切に状況判断して開催したい。

#### <学生に対する臨床検査技師の普及事業>

##### 【マイナビ進学ライブ 2023 (盛岡)】

開催日：令和5年6月28日(水) 13時00分～15時30分

場 所：盛岡タカヤアリーナ

対 象：高校生(2022年実績 733名)

活動内容：

「社会人アドバイザー」として臨床検査技師を選択した経緯や仕事の経験を伝え、高校生が臨床検査技師になるという将来を考える上でのアドバイスを行う。

#### <ガン予防啓発事業>

##### 【大腸がん予防啓発キャンペーン あっぴりレーマラソン 2023「STOP!大腸がん」(仮)】

開催日：令和5年9月(例年は第2週目の日曜日)

場 所：安比高原スキー場

参加予定岩臨技会員人数：20名

活動内容：

今年度は通常通りの内容で開催されると考えている。岩臨技として久しぶりの参加となるが、本企画を通してSTOP!大腸がんをスローガンに県民にガン予防啓発を行いたい。

なお、大会が開催されない場合は本事業は中止する。

#### <全国 検査と健康展>

##### 【検査と健康展 in 盛岡地区】

開催日：令和5年11月中旬ごろ

場 所：矢巾町活動交流センター やはばーく(紫波郡矢巾町)

一般参加見込み数：150名

参加予定スタッフ数：約15名(内訳：岩臨技役員5名程度、盛岡地区技師会10名程度)

活動内容：

担当地区は昨年度に引き続き、盛岡地区で開催する。内容はこれまでの新型コロナウイルス感染症により、「臨床検査技師」や「PCR検査」という名称を国民が認識したと思われるが、県民に対して臨床検査技師をさらに広く周知できるようにしたい。また、昨今は予防医学の観点から健康維持に関心があると思われるため、そのような内容の企画を盛り込みたいと考えている。新型コロナ流行以前に戻れるよう「医療従事者と参加者が触れ合える」内容でかつ、感染対策には十分に留意して開催する。

### <生涯教育研修部>

- 1、生涯教育研修部では、会員が生涯教育研修制度を通じ知識や技術水準の維持向上を目指し、会員個人の生涯に渡る学習を組織的に援助することを目的として活動をする。
- 2、ホームページの情報更新等は出来るだけ速やかに対応していきたい。
- 3、2023年度も、新型コロナは終息に向かってはいるが、動向を見ながら現在のzoom ミーティングを

用いた体制を続けながら、会員が参加しやすい方法を検討していきたい。

- 4、日臨技の事業の一つでもある、eラーニングには認定関連のプログラムも多く、生涯教育研修制度の広報と啓蒙を行っていきたい。

#### <精度管理部>

令和5年度（第29回）岩臨技精度管理調査  
前年度と同様の企画で12月に実施予定

#### <書記・会報部>

1. 定期総会および理事会の議事録作成
2. 会報については、4・6・8・10・12・1月に発行する予定です。  
会報の内容については、会議録や学会・研修会等の案内・「つなぐ」を掲載予定。
3. 会報は製本せずにホームページに掲載予定。

#### <各地区・事業計画>

##### 北部地区技師会

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に変更になることから、集合形式の総会・研修会を開催するか、日臨技や岩臨技の動向・発生状況を考慮し検討してゆく予定
- ・令和5年度 北部地区通常総会  
日時：未定  
場所：未定
- ・令和5年度 北部地区技師研修会  
日時：未定  
場所：未定

##### 盛岡地区技師会

令和5年度は新型コロナウイルス感染症に関する社会情勢を考慮しつつ、活動の幅を広げていきたい。前年度に1度しか企画できなかった研修会をより多く企画し、盛岡地区技師会会員に貢献できるような活動をしていきたい。また、より多くの県民に臨床検査技師を知って貰い、健康維持に興味を持っていただけるような内容にしたい。

令和5年度 盛岡地区技師会定期総会

日時：令和5年5月 予定  
会場：未定

第73回 盛岡地区技師会研修会

日時：令和5年5～6月 予定  
会場：未定  
内容：未定

第74回 盛岡地区技師会研修会

日時：令和5年夏～秋 予定  
会場：未定  
内容：未定

検査と健康展 in やはぱーく（岩手県臨床衛生検査技師会、盛岡地区技師会共催）

日時：令和5年11月 予定  
会場：矢巾町活動交流センター やはぱーく（紫波郡矢巾町） 予定  
内容：臨床検査技師紹介の展示、健康啓発パネルの展示、リーフレット配布、POCT用遺伝子増幅検査機器の展示、新型コロナウイルスの検査法についてご紹介、PPE着用体験 等

第75回 盛岡地区技師会研修会

日時：令和5～6年冬 予定  
会場：未定  
内容：未定

### 中部地区技師会

令和 5 年度 中部地区技師会総会

今年度も、書面による承認及び議決の通常総会と新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、2 回程度の研修会を開催予定としている。

令和 5 年度 第 1 回研修会

日 時：未定

会 場：未定

内 容：未定

令和 5 年度 第 2 回研修会

日 時：未定

会 場：未定

内 容：未定

### 南部地区技師会

通常総会および研修会の開催を予定とする。

多くの会員の皆様に参加していただけるような方法、内容を企画したい。

今年度は、役員改選の年にあたります。会員皆様のご協力をお願いします。

令和 5 年度 南部地区通常総会

日 時 未定

場 所 未定

令和 5 年度 南部地区技師研修会

日 時 未定

場 所 未定

### 三陸地区技師会

令和 5 年度の地区技師会活動については、新型コロナウイルス感染症対策で活動様式も大きく変化した中、これからの活動内容については状況を見ながら会員皆様と一緒に考えていきたいと思えます。今年度の計画は未定ですが集合研修や Web を活用する方法等も考えながら計画していきたいと考えます。また日臨技、県技師会の各種研修会やイベントも予定されていますので参加をお願い致します。会員皆様のご協力をお願い致します。

第2号議案

## 2023年度収支予算(案)

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	11,500	11,500	0	
入会金収入	11,500	11,500	0	500円×23名
② 会費収入	4,740,000	4,740,000	0	
正会員会費収入	4,060,000	4,060,000	0	7,000円×580名
賛助会員会費収入	680,000	680,000	0	20,000円×34社
③ 事業収入	330,000	330,000	0	
事業収入	330,000	330,000	0	精度管理事業参加費
④ 補助金等収入	1,110,000	1,110,000	0	
研修会費収入	10,000	10,000	0	非会員参加費
民間助成金収入	1,100,000	1,100,000	0	日臨技助成金、検査と健康展助成金
⑤ 雑収入	500	500	0	
受取利息収入	500	500	0	
雑収入	0	0	0	精度管理郵送費負担分
事業活動収入計	6,192,000	6,192,000	0	

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
<b>2. 事業活動支出</b>				
① 事業費支出	3,950,000	3,490,000	460,000	
<b>ア 啓蒙活動支出</b>	700,000	700,000	0	
給与手当支出	100,000	100,000	0	スタッフ日当
報償費支出	100,000	100,000	0	スタッフ弁当
旅費交通費支出	110,000	110,000	0	スタッフ交通費
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	発送費、切手代
消耗品費支出	120,000	120,000	0	ボールペン、マウスピース等
印刷製本費支出	10,000	10,000	0	検査と健康展チラシ印刷
賃借料支出	100,000	100,000	0	会場費、トランクルーム
諸謝金支出	100,000	100,000	0	医師謝礼(2名)
雑支出	50,000	50,000	0	安比リレーマラソンエントリー費 健康展備品
<b>イ 学会活動支出</b>	1,100,000	900,000	200,000	
給与手当支出	20,000	20,000	0	
報償費支出	70,000	70,000	0	
旅費交通費支出	80,000	80,000	0	
通信運搬費支出	10,000	10,000	0	
消耗品費支出	10,000	10,000	0	
印刷製本費支出	300,000	400,000	△ 100,000	
賃借料支出	180,000	180,000	0	
諸謝金支出	100,000	100,000	0	
雑支出	30,000	30,000	0	
委託費	300,000	0	300,000	
<b>ウ 研修会活動支出</b>	900,000	790,000	110,000	
給与手当支出	120,000	15,000	105,000	スタッフ日当
報償費支出	80,000	100,000	△ 20,000	講師飲料代等
旅費交通費支出	150,000	150,000	0	講師交通費、宿泊費
通信運搬費支出	95,000	20,000	75,000	発送費、切手代
消耗品費支出	30,000	30,000	0	
印刷製本費支出	10,000	10,000	0	資料作製費
賃借料支出	110,000	110,000	0	会場費
諸謝金支出	300,000	350,000	△ 50,000	講師謝礼
雑支出	5,000	5,000	0	
<b>エ 会報事業支出</b>	500,000	500,000	0	

通信運搬費支出	135,000	135,000	0	発送費、切手代
消耗品費支出	5,000	5,000	0	
印刷製本費支出	350,000	350,000	0	印刷費
雑支出	10,000	10,000	0	印刷費
<b>オ 精度管理事業支出</b>	<b>750,000</b>	<b>600,000</b>	<b>150,000</b>	
通信運搬費支出	70,000	70,000	0	切手代等
消耗品費支出	500,000	350,000	150,000	試料費、器材費
委託費支出	110,000	110,000	0	日臨技システム使用費
雑支出	70,000	70,000	0	宅配費用等

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	差異	備 考
<b>②管理費支出</b>	<b>2,242,000</b>	<b>3,602,000</b>	<b>△ 1,360,000</b>	
役員報酬支出	80,000	80,000	0	理事日当(@1,000円)
給料手当支出	150,000	190,000	△ 40,000	手当
報償費支出	100,000	200,000	△ 100,000	総会経費、監査経費
会議費支出	20,000	20,000	0	会場費
旅費交通費支出	250,000	270,000	△ 20,000	理事会交通費、日臨技交通費
通信運搬費支出	800,000	800,000	0	電話、インターネット、サイボウズ Office、Webex、議案書発送費
消耗品費支出	10,000	100,000	△ 90,000	封筒、コピー用紙等
印刷製本費支出	300,000	300,000	0	議案書印刷費、コピー機使用料、会員名簿印刷費
賃借料支出	350,000	450,000	△ 100,000	トランクルーム、コピー機リース、パソコンリース
諸謝金支出	10,000	10,000	0	源泉所得税
租税公課支出	72,000	72,000	0	市民税、県民税
委託費支出	30,000	30,000	0	レンタルサーバー使用料、HP保守料
慶弔費	10,000	10,000	0	祝電
雑支出	60,000	1,070,000	△ 1,010,000	北日本支部医学検査学会調整費、広告費、振込手数料
<b>事業活動支出計</b>	<b>6,192,000</b>	<b>7,092,000</b>	<b>△ 900,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>△ 900,000</b>	<b>900,000</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入		0		
投資活動収入計		0		
2. 投資活動支出		0		

投資活動支出計		0	
投資活動収支差額		0	
<b>II 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入		0	
財務活動収入計		0	
2. 財務活動支出		0	
財務活動支出計		0	
財務活動収支差額		0	
<b>II 予備費収支の部</b>			
予備費支出		0	
予備費支出計		0	
予備費収支差額		0	
当期収支差額	0	△ 900,000	
前期繰越収支差額			
次期繰越収支差額	0	△ 900,000	

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会新役員 案  
(任期 令和五年五月二十七日から二年間)

会	長	高	橋	一	博	岩	手	県	立	中	央	病	院										
副	会	千	景	寛	緒	盛	岡	市	立	病	院												
副	会	小	野	奈	史	岩	手	医	科	大	学	附	属	病	院								
常	務	川	村	将	史	い	わ	て	り	ハ	ビ	リ	テ	ー	シ	ョ	ン	セ	ン	タ	ー		
常	務	佐	々	将	み	岩	手	県	立	宮	古	病	院										
理	事	浅	木	来	介	盛	岡	赤	十	字	病	院											
理	事	千	沼	匡	也	岩	手	医	科	大	学	附	属	病	院								
理	事	熊	谷	拓	邦	岩	手	県	立	軽	米	病	院										
理	事	藤	倉	正	規	岩	手	県	立	久	慈	病	院										
理	事	鈴	木	由	子	岩	手	県	立	江	刺	病	院										
理	事	山	根	知	一	岩	手	県	立	遠	野	病	院										
理	事	中	沢	修	浩	岩	手	県	立	千	厩	病	院										
理	事	熊	谷	和	代	岩	手	県	立	大	東	病	院										
理	事	新	沼	公	子	岩	手	県	立	釜	石	病	院										
理	事	朝	岡	美	穂	世	い	て	つ	記	念	病	院										
監	事	菊	池	千	佳	岩	手	県	立	江	刺	病	院										
監	事	菊	池	英	岳	医	療	法	人	日	新	堂	八	角	病	院							
事	務	下	榊	久	美	岩	手	医	科	大	学	附	属	M	C								
局	長		川	波	步																		